

# 新興国の元気が世界経済に好影響

Raku  
Yomi

楽読(ラクヨミ)

nikko am  
fund academy

新興国では、近年の急速な経済成長を背景に、エネルギーや原材料需要に加え、国内における設備投資の増加から機械や工業製品などの需要が拡大傾向にあります。また、目覚ましい経済の発展に伴う所得水準の向上などによって、中間所得層の増加が続いており、自動車や耐久消費財などに対する需要も高まっているとみられます。こうした旺盛な需要の一部は、輸入によって支えられています。

例えば、BRICsの主要な輸入相手国(地域)を見ると、米国や日本、ドイツなどの経済大国に加え、近隣諸国からの輸入の割合が多いことがわかります。高成長を続けるBRICsは、堅調な内需や輸入拡大を通して、これらの経済大国や近隣諸国の経済に好影響を与えているとみられることから、BRICsの成長率の高さとともに、主要な輸入国に対する影響力の強さも注目されそうです。

現在、BRICsだけではなく、その他の新興国も世界経済における存在感を高めつつあることを考えると、このような貿易といった面からも、新興国同士や先進国との関係を通じて、新興国の高い成長が世界経済を牽引する可能性が期待されます。

## BRICsの主要\*な輸入相手国(地域)

(2008年、%は輸入金額の全体に占める割合) \* 上位5カ国(地域)

